

◆木川町紹介◆



一 木川町薬師堂のご紹介 一

町内の中央に「木川町薬師堂」があります。薬師堂の中には、薬師如来坐像と二体の毘沙門天立像が祀られています。木川町では、古くから「薬師さん・乳薬師」として、木川の安全仏として今日まで信仰されて来ました。



<文化財の内容>



やくしにょらいざどう
薬師如来坐像

(国指定重要文化財)

鎌倉時代(13世紀)作

像高 87.0cm

前後2材 矧ぎヒノキ寄木

造で造立当初は漆箔製



びしゃもんてんりゅうどう
毘沙門天立像

(国指定重要文化財)

平安時代(12世紀)作

像高102.8cm ヒノキ1材造



びしゃもんてんりゅうどう
毘沙門天立像

鎌倉時代(13世紀)作

像高 97.8cm

前後2材 矧ぎヒノキ寄木



現在は、毘沙門天立像二体は治安上、防災上から栗東歴史民俗博物館に安置されていますが、毎年、1月と8月の8日には「八日薬師」として法要を勤めています。どうぞ、一度見学にお越しください。

一 木川町の小さな小さな神社 一

町内の薬師堂横に縦7m、横5mの玉垣に囲われ、社殿もなく樹木が数本茂るだけの静かにたたずむ小さな小さな神社、樹木を依り代(よりしろ)に木川町民が親しみ信仰している「白鬚神社(白鬚さん)」であります。

例年八月の夏祭りは、「白鬚神社夏まつり」として、神事の後に

盛大に夏祭りが始まります。しかし、令和2年は、コロナ禍で夏祭りを中止し、神事のみ、白鬚神社大祭に合わせた9月5日に提灯と百灯が灯る幻想的な中、コロナの早い収束を願って、厳かに執り行われました。

